

# 大阪府退教情報

第5号

22年10月11日

府退教のみなさまへ ご支援をおねがいます

書籍の紹介

『天王寺・文の里夜間中学の存続を』～生きる権利と学ぶ権利がすべてに優先する～

〔解放出版社／2022年8月発行〕

みなさまもご承知のことと思いますが、現在、大阪市や大阪府教育委員会は2024年4月4月に新設予定の「不登校特例校（夜間学級併設）」に統合する形で、大阪市内に今あるのうち天王寺夜間と文の里夜間の2校を廃校にして夜間中学校を減らす計画を考えています。この間、近畿夜間中学校生徒会連合会が中心となり、廃校反対の署名活動・大阪市会（議会）への陳情書提出・街頭行動など、天王寺夜間と文の里夜間の2校存続にむけてとりくみを続けています。

2022年5月には「国勢調査」（2020年実施）の結果が公表されました。その結果、最終学歴が「小学校卒業」の人は全国に80万4293人いることがわかりました。また、「未就学」の人数は9万4455人のぼり、中学校までの義務教育を終えていない人は、合わせて89万8748人となっています。大阪市はそれぞれ1万0285人と3348人という結果で、合わせて1万3633人となり、全国20政令市の中で一番多くとても厳しい状況です。

2016年12月には、国会で「教育機会確保法」がつくられ、毎年、全国各地に、新たな夜間中学校が開校されています。現状では「なくてはならない学校」として、全国には15都道府県／40校あります。この間、国や文部科学省もその意義や必要性を認め、夜間中学校設置を強く推進しています。

大阪市や大阪府教育委員会は「国勢調査」の結果の厳しい実態を深刻に受けとめ、「2校廃校計画」を改めて考え直すべきです。夜間中学校はさまざまな厳しい現実や矛盾などで、学齢期に「学ぶ権利」を保障されなかった人たちが学ぶ「学校」です。

この度夜間中学校で学ぶ生徒さんの思いや願い、生徒会連合会の活動、大阪の夜間中学校の現状をより多くのみなさまに伝え、ともに考え、力をあわせてとりくみ、たたかっていくことができるようにと表記書籍を緊急出版しました。この書籍を購読いただき、ぜひとも大阪の夜間中学生や夜間中学校へのお力添えをいただきますようご協力のほどよろしく願いたします

2022年10月  
豊中市教職員組合  
特別執行委員 山崎靖彦

10月6日、府退教役員会において大阪市の夜間中学校の統廃合に反対しその理解を得るために出版された書籍を紹介・販売しささやかな支援をすることを確認しました。その趣旨に基づき山崎さんから寄稿いただきました。単会代表者会議などでお買い求めいただければ幸いです。裏面に本の写真添付します。（1800円を1500円で販売）林